



令和6年12月吉日

医師会ご担当者様

日本地域包括ケア学会

理事長 田中 滋

(公 印 省 略)

日本地域包括ケア学会 第6回大会（ハイブリッド開催）のご案内

初冬の候、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また日頃より日本地域包括ケア学会の運営につきまして多大なご支援をいただき感謝申し上げます。

さてこの度、日本地域包括ケア学会 第6回大会を「公益社団法人 日本医師会」と共催で開催することになりました。今回は「2040年に向けて第2のスタートを切る」をテーマとし、「医療介護ニーズの増加と就業人口減にどのように折り合いをつけるか」「医療・介護だけではなく、行政や福祉との連携も含めた多職種連携」「地域規模別 地域包括ケアシステムの先進事例の紹介」についてお伝えをいたします。

時節柄ご多忙とは存じますが、是非貴会の会員の皆様に御周知をいただき、多くの医療関係者の方々にご参加いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1、開催日 令和7年1月12日（日曜日）午後1時30分～午後5時30分
- 2、場 所 会場参加の方 日本医師会館（東京都文京区本駒込2丁目28-16）
オンライン参加の方 Zoom ウェビナー
- 3、参加費 1000円
- 4、申込み 日本地域包括ケア学会パンフレットに記載されている参加申込用URLもしくはQRコードを読み込んでいただき、お申し込みください。
※Peatixをはじめてご利用される方は新規登録が必要となります。
- 5、対 象 医療・介護関係者、行政関係者等
- 6、参加証 本大会は日本医師会生涯教育講座として認定されております。
※日医生涯教育制度 基調講演：1単位（CC12）・シンポジウム①：1単位（CC13）・シンポジウム③：1単位（CC10）合計3単位
参加証を希望される方は学会のすべての時間をご視聴いただき、学会開催後お送りするアンケートにご回答ください。
ご回答いただきました方には、受講証明書を発行いたします（希望者のみ）。
- 7、問い合わせ 日本地域包括ケア学会 事務局（志村大宮病院内） 担当：小野・清水
電話：0295-53-2170 メール：ono@hakujinkai.com



第6回大会

日本地域包括 ケア学会

Japan Society of Community Based Integrated Care

2025

1/12日

13:30-17:30

会場×ZOOM ハイブリッド開催

会場：日本医師会館小講堂 定員 50 名

2040 年に向けて第 2 のスタートを切る

第6回大会プログラム

開会セレモニー
(13:30)

基調講演
(13:40)

「増え続ける医療介護ニーズと縮みゆく就業人口
2つの課題にどう折り合いをつけるか」

座長 鈴木 邦彦氏（日本地域包括ケア学会事務局長）

講演 田中 滋氏（日本地域包括ケア学会理事長）

シンポジウム①
(14:45)

「進化する多職種連携：行政や福祉との連携」

座長 田中 滋氏（日本地域包括ケア学会理事長）

講演 鑄木奈津子氏（上智大学総合人間科学部社会福祉学科 准教授）

勝部 麗子氏（社会福祉法人豊中市社会福祉協議会 事務局長）

松本 小牧氏（愛知県豊明市市民生活部共生社会課 課長）

川越 雅弘氏（株式会社日本医療総合研究所 地域づくり推進部 部長）

シンポジウム②
(16:00)

「ここまできた地域包括ケア
～市町村規模別の先進事例、多職種協働による地域包括ケア～」

座長 松田 晋哉氏（日本地域包括ケア学会 副理事長）

講演 福田 紀彦氏（川崎市 市長）

柴垣 維乃氏（名張市地域包括支援センター センター長）

川越 正平氏（松戸市医師会 会長）

中村 丁次氏（日本栄養士会 代表理事会長）

総括 松田 晋哉氏（日本地域包括ケア学会副理事長）

閉会セレモニー
(17:25)

お問合せ

日本地域包括ケア学会運営事務局

医療法人博仁会志村大宮病院内

TEL. 0295-53-2170

●学会参加費：1,000 円（手数料・税込）

●本学会は感染症予防、防止のため、会場での参加者数制限しております。
会場での参加者定員を超える場合は、オンラインでの視聴となります。
お申込み方法につきましては裏面またはWEBサイトをご覧ください。

日本地域包括ケア学会

検索

主催：日本地域包括ケア学会 共催：公益社団法人 日本医師会

第6回大会

日本地域包括ケア学会

大会テーマ：2040 年に向けて第 2 のスタートを切る

2025/1/12 (Sun) 13:30-17:30

※会場・オンライン参加のいずれも、下記 Peatix サイトからの事前申込となります。

お申込み方法

受付締切は
令和 7 年
1 月 8 日
です

下記 URL または記載の QR コードからお申込みください。

※受講者 1 名ごとに個別にお申込みください。

申込専用 URL

<https://chiikihoukatsu.peatix.com>



お申込みは Peatix サイトにて受け付けております。
Peatix でのお申込みには Peatix アカウント登録が必要になります。また参加費のお支払いはクレジットカードやコンビニエンスストアでの支払いとなります。
詳細は Peatix サイトにてご確認ください。



基調講演

「増え続ける医療介護ニーズと縮みゆく就業人口

2 つの課題にどう折り合いをつけるか」

2025 年には団塊の世代が 75 歳以上の後期高齢者となり、医療や介護の需要は今後さらに増加をしていく。一方で日本人の就業人口は減少をしていく見込みであり、その補填として定年年齢の延長や高齢者の再雇用、外国人就業者を増やすといった施策がとられている。「医療介護ニーズの増大」と「就業人口の減少」という 2 つの相反する課題について本講演を通して明らかにしていき、今後どのような施策が考えられるのか明らかにしていく。

シンポジウム①

「進化する多職種連携：行政や福祉との連携」

全国各地で地域包括ケアが進み、病診連携・医療介護連携・多職種連携などが地域に合わせた形で構築され、医療介護分野で支える体制は進化をしている。しかし高齢者は医療や介護のほかにも「貧困」「孤独・孤立」「身寄りなし」など多様な課題を抱えており、行政や福祉関係者との連携を迫られることも多い。本シンポジウムでは行政や福祉、医療・介護関係者が、それぞれの立場で連携し、福祉的なニーズに対応してきた事例を紹介するとともに、地域共生社会実現のための道筋を示していく。

シンポジウム②

「ここまできた地域包括ケア

～市町村規模別の先進事例、多職種協働による地域包括ケア～」

地域包括ケアシステムは各地域に合わせた形で構築されることを想定している。今回は全国でも特に先進的に地域包括ケアを進めている神奈川県川崎市（人口 155 万人）、三重県名張市（人口 7 万 5 千人）の取り組みを取り上げ、人口規模の違う市町村で行われている取り組みの違いを検証していく。

また医師会・栄養士会など各職能団体を中心となり進めている地域包括ケアシステムの取り組み、目指すべき将来像について明らかにしていく。

★本大会は日本医師会生涯教育講座に認定されております。

本大会は日本医師会生涯教育講座に認定されております。基調講演:1 単位 (CC12) シンポジウム 1:1 単位 (CC13) シンポジウム 2:1 単位 (CC10)。参加証を希望される方は「ZOOM ウェビナー」で当日視聴し、学会後お送りするアンケートにお答えください。

※学会当日に視聴をしたログの確認をいたします。ログの確認ができない場合、恐れ入りますが、参加証の発行はできませんのでご了承ください。

医師以外の職種で受講証明書をご希望の方は、学会視聴後にお送りするアンケートにお答えいただいた場合、受講証明書を郵送いたします。